恵庭市子ども政策課からのお知らせ　えにわっこなび

恵庭市ファミリー・サポート・センター事業について

少しの間子どもを預かってほしい …… そんな時のために

子育て中の家庭を応援したい …… と考えている方に

ファミリー・サポート・センターは、地域において育児の手助けが必要な方（依頼会員）と育児の手助けができる方（協力会員）が会員となり、安心して子育てができる環境作りのお手伝いをしています。

援助内容

病児・病気回復期の預かりは医療機関受診後の利用となり、代理受診を休止しています

- ●基本の預かり
  - ・保育施設等の開始前や終了後の預かり
  - ・保育施設等や習い事などの送迎
  - ・保護者の通院や冠婚葬祭・学校行事などの預かり
  - ・保護者のリフレッシュや外出時の預かり
- ●病児および病気回復期の預かり
- ●急な残業や出張で迎えに行けないとき
- ●宿泊を伴う預かり（1歳以上）

※利用するには依頼会員も協力会員も、あらかじめ登録が必要です。（入会・登録は無料）

依頼会員

育児の手助けが必要な方

- ●恵庭市内にお住まいか、市内で働いている方
- ●0歳から小学6年生までのお子さんをお持ちの方

協力会員

育児の手助けをしたい方

- ●恵庭市内にお住まいで、自宅または依頼会員宅で子どもを預かる事ができる方
- ●20歳以上の心身ともに健康で、子どもの好きな方。（資格の有無は問いません）

〈恵庭市委託事業〉恵庭市ファミリー・サポート・センター

運営：特定非営利活動法人ワーカーズコープ　〒061-1432 恵庭市恵央町14-4

TEL 0123-29-6031　／　FAX 0123-29-6036

開設時間：8時45分～17時15分（土・日・祝日を除く）

※問合せ・登録を希望の方は、ファミリー・サポート・センターまでご連絡ください！

恵庭市子育て支援サイト「えにわっこなび」

えにわっこなびは、市内の子育て情報を掲載しているほか、週1回メールマガジンを配信しており、現在およそ530人の方に登録いただいています！ ぜひあなたも、仲間入りしてみませんか？

https://eniwakko-navi.com/

えにわっこなびの問い合わせ先　恵庭市役所 子ども未来部 子ども政策課　TEL 0123-33-3131（内線1237）

こんなとき、どうする？ 困ったときのアドバイス

出典：（一社）北海道消費者協会「北のくらし」№517

自宅を売却後もそのまま住むことができる？ リースバックとは…

Q 不動産会社に自宅を売却して賃貸借契約を交わすと、そのまま自宅に住み続けることができるリースバックという形態があるようだ。売却を検討中で賃貸借契約については決めかねているが、契約の際の留意点を教えてほしい。

（60代 女性）

A 自宅のリースバックとは、事業者に自宅を売却して売却代金を受け取ると同時に賃貸借契約を交わして、家賃を支払いながら引き続き自宅に住む仕組みです。リースバックのメリットとしては、売却した際にまとまったお金を得ることができるため、老後の生活資金等に充てられることが挙げられます。また、賃貸借契約になるため、住み続けても固定資産税や火災保険料、住宅の修繕費用などの負担は原則必要がなくなります。

一方で、注意点もあります。自宅は自分のものではなくなるため、事業者に承諾なく自由に設備を変えることはできません。また、引き続き自宅に住んでいても、設定した賃貸借期間の終了後に必ず契約が更新される保証はありません。売却した自宅の買い戻しが可能と説明を受けていても、さまざまな条件があったり、売却価格より買い戻し価格が高くなったりして、買い戻しができない可能性もあります。なお、自宅の売却は宅地建物取引業法に基づくクーリング・オフの適用はありません。

相談者には以上の点を説明して、慎重に検討するよう伝えました。なお、リースバックと似たものとして、リバースモーゲージがあります。これは、自宅を担保に入れて融資を受けた契約者が死亡後、担保とした自宅を売却して債務を一括返済する仕組みです。ただし、契約内容によっては売却しても負債が残り、相続人に負担が発生する可能性もありますので、十分注意が必要です。

一人で悩むより…

北海道立消費生活センター 相談専用電話　TEL.050-7505-0999

ちとせ・まち魅力検定2023 基礎編（6）

問題は7ページ

問題1　③千歳ー長沼

問題2　②99.9パーセント

問題3　③道央廃棄物処理組合

問題4　①市長へのポスト

問題5　①支笏湖チップ

第163回

カケスさんの自然散歩

by 中原"カケス"直彦（しこつ湖自然体験クラブ＊トゥレップ 理事）

アシリパ、新しい年

1月はアイヌ語で「トウェタンネ チュプ ＝ 日が長くなる月 」と呼ばれるそうです。（平取など沙流地方のアイヌ語を記録した「アイヌ語沙流方言辞典」より）

これから毎日少しずつ日が長くなっていきます。能登半島地震で被災された皆さんのことを想うと胸が痛みます。でもどうかお気を落とさず希望をもって頂きたいと思います。

1月7日（日）、アイヌ民族の伝統行事「アシリパノミ」に参加させて頂きました。主催は千歳アイヌ協会。私が仲間に入れて頂いている千歳アイヌ文化伝承保存会のメンバーも皆、毎年準備や片付けを手伝っています。

「アシリパ」の意味は「新しい年」。人気漫画『ゴールデン・カムイ』の主人公であるアイヌ民族の少女がアシリパさんなので、すっかり有名になりましたね。

「アシリパノミ」は、カムイたちに感謝し今年1年がまた平穏でありますように祈る大切な儀礼です。中村吉雄会長が祭司として語るアイヌ語の祈りの詞を、囲炉裏（アペ）にいつも居られるアペフチカムイがカムイモシリに届けて下さいます。

アワの穂（10月）

その時に必要不可欠なのがお供え物とする伝統的な料理の数々。今年は特に素晴らしく意義のあるものが準備されました。いくつかの食材として、市内に再生されつつある「イオル ＝ 伝統的生活空間」から収穫・採取したものを使うことができたのです！

上：かぼちゃのチポイェプ
下：シケレベシト　右：イナキビご飯

ほんのり甘くておいしい「ムンチロシト」の材料である粟（あわ）は、昨年の春からイオルの畑で栽培したものです。

「かぼちゃのチポイェプ」は混ぜ煮です。豆とともにとろとろに煮たカボチャもイオルの畑で採れたもの。

「チェプオハウ」は鮭の汁もの。欠かせない鮭の氷頭（ひず）は千歳川からマレク漁で捕った鮭のもの。身はルイベ（とける食べ物 ＝ 凍ったお刺身）でも頂きました。

ぴりっとした独特の辛みがある「シケレベシト」の材料はキハダの実ですが、今後これもイオルに植樹したキハダの木から採取できるようになるでしょう。「イナキビご飯」のイナキビも来年は収穫したものを使えそうです。

千歳市長さんはじめ行政を担う皆さんの代表や、「サケのふるさと千歳水族館」の館長さん、恵庭と苫小牧のアイヌ協会会長さんなどとともにお招きしたのは「浦河アイヌ文化保存会」の皆さん12名。

上：イナキビご飯
左：ムンチロシト 右：チェプオハウ

このように他地域の方をお招きしての交流はコロナ禍でできませんでしたので4年ぶりです。伝統の歌と踊りを披露し合い、最後は「ホリッパ（輪踊り）」に参加者の方々が皆加わり、日常が戻って来た歓びの輪が会場狭しと拡がる笑顔の新年交流会となりました。

●プロフィール　カケスさん

中原直彦　（社）日本自然保護協会の自然観察指導員。市民団体「しこつ湖自然体験クラブ＊トゥレップ」を2003年に設立。（財）アイヌ民族文化財団・活動アドバイザー。小学校非常勤講師、専門は環境学習。音楽活動ではブルーグラス・バンドを主宰。2009年8月より当コラムを執筆。